

育英学院同窓会 2011-12 年度 定期総会（評議員会）開催 2011.10.30

2011-12 年度育英学院同窓会総会（評議員会）が以下の様に招集された。

平成 23 年 10 月 1 日
育英学院同窓会役員（区分封筒宛名記載）
名誉会長
顧問各位（区分 K）
相談役各位（区分 S）
執行役員各位（区分 Y）
理事各位（区分 R）
評議員各位（区分 H）

育英学院同窓会会長 藤谷 宏

2011-12 年度定期総会（評議員会）開催通知

同窓会評議員の皆様、役員の皆様、今年は暑い節電の夏を経て早々と秋の風情ですが、如何お過ごしでしょうか。さて本年は学園祭時に定期総会（評議員会）を開催する年でもありますので、会則第 14 条 1 項に従い評議員会（定期総会と同時に）を開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、ご参集ください。

日時 平成 23 年 10 月 30 日（日） 午後 4 時～6 時
場所 サレジオ工業高等専門学校（町田多摩境）
学生食堂（2F）

議題

1. 定期総会（評議員会）開催確認
2. 2009-10 年度事業報告と決算報告
3. 2011-12 年度事業計画と予算審議
4. 執行役員の改選（新任、退任、再任）
5. CHD44(Coming Home Day44 期) 企画開催報告
6. 高専昇格 50 周年、ドンボスコ生誕 200 年等
記念寄付募金事業協力
7. その他

懇親 定期総会（評議員会）終了後引き続いて懇親会（全員当たる BINGO、無料）を開催します。

出欠 同封 FAX 用紙に出欠委任（**評議員の方で欠席の場合は必ず委任を**）を○で囲んで FAX 願います。または同封ハガキに 50 円切手を貼って返送願います。

委任 会則第 14 条 1 項により定足数が 40 名（現員 393 名の 1/10 です）以上の出席または欠席委任状が必要です。
資料 後日 10 月上旬に発送される同窓会報（理事会報告）を参照してください。

追伸 顧問、相談役の皆様にはご高見を賜りたく、会則第 11 条 5 項に基づき、ご出席頂ければまことに幸甚に存じます。執行役員、理事の方は可能な限りご出席願います。

発信 194-0215 町田市小山が丘 4-6-8 サレジオ高専内
育英学院同窓会事務局長 木戸能史

定期総会（評議員会）議事報告

第 1 号議案 定期総会（同時評議員）開催確認

当日現在の評議員数は当初 392 名であったが、辞退ある

いは住所不明等により 384 名とされた。よって定足数は同窓会規約からその 10 分の 1 以上とされ、39 名以上の出席または欠席委任が必要であった。事務局長より当日までに評議員の出欠は委任をあわせて 80 名に達しており、会は成立した。また総会については定足数規程はなく当日出席者の承認で成立するものとしている。

当日は出席役員（顧問、理事、評議員）その他会員の総数は 28 名を超えた。以下の議案の審議を行った。

第 2 号議案 09-10 年度事業報告と決算報告

以下に掲載されている事業報告及び決算報告が審議された。かつて同窓会の財政危機が叫ばれた当時に比べると繰越金は順調に増加傾向にあり、今後何かの活動のために基金化することができる見通しになっている。今期は 75 周年事業、義援金支援などの特別事業が実施されたがこれらは別途会費等徴収により事業費は特段大幅超とはならなかった。この部分が預り金収支である。

さらに同窓会員の会費納入の推進について郵便振替、銀行振込以外の方法も模索しているが経費負担等で困難な状況から学園祭時、ファミリー会時の受付で同時徴収ということも検討する。

報告の後、生田目、西村両監事より監査結果について記載の通り報告され、事業報告及び決算報告とも拍手承認された。

事業報告

2009(21)年

11 月 1 日 定期総会・懇親会（於サレジオ高専）

2010(22)年

01 月 16 日 定期公演（吹奏楽）お祝い

03 月 19 日 同窓会紹介（於卒業式予行）

1. 同窓会説明

2. 会員名簿 2010 頒布

03 月 24 日 第 43 回卒業式（会長他出席）

03 月 27 日 育英ファミリー会（杉並）支援

04 月下旬 75 周年プロジェクト発足

06 月 06 日 キャリアデー支援

執行役員会

1. 75 周年記念幹事会

2. 同日卒業生の集い

3. 育英ファミリー会後援

4. 部活動、留学生支援

5. その他

07 月 10 日 故平山吉晴先生を忍ぶ会（杉並）

08 月 15 日 ヨハネ・ペトラッコ元高専校長逝去(90 歳)

08 月 25 日 75 周年幹事会発足・同窓会長呼びかけ

09 月 01 日 同窓会報・75 周年お知らせ等発送

09 月 25 日 執行役員会

10 月 30 日—31 日 育英祭・75 周年申し込み受付

10 月 31 日 75 周年幹事会開催（町田）

11 月 14 日 育英学院創立 75 周年記念式典・祝賀会
卒業生の集い（All Coming Home Day）

2011(23)年	
01月15日	相模原市民会館(初の)で定期公演
03月11日	東日本大震災発生(午後2時46分)
03月18日	卒業式予行(中止)
03月26日	育英ファミリー会(中止)
03月24日	第44回卒業式(会長出席・学校開催) 同謝恩会中止(ホテル側の事情で)
06月04日	キャリアアデー講師謝礼支援 執行役員会 1. 定期総会 10.30(学園祭) 2. 理事会 9.3開催 3. 役員改選・再選 4. 2011-12事業立案 5. 75周年・義援金事業報告 6. 44期生 Coming Home Day 企画 7. 寄付金要請協力
07月10日	44期生評議員・クラス幹事会開催
08月31日	09-10年度決算
09月02日	監査
09月03日	11-12年度第1回理事会(杉並)
10月29日	44期生 Coming Home Day(CHD44)開催
10月30日	定期総会(評議員会)・卒業生の集い開催

決算報告(2009.9~2011.8)

収入の部	
1.	前期繰越金(世界同窓会積立金) 6,263,374
2.	同窓会入会金(43-44期生) 3,432,000
3.	同窓会員年会費 646,000
4.	雑収入(利息等) 80,562
5.	預かり金収入 3,105,480
収入小計	
1.	前期繰越金 6,263,374
2-4.	当期収入計 4,158,562
5.	預かり金収入 3,105,480
	(75周年、義援金等)
収入合計 13,527,416	
支出の部	
1.	総会開催費(09-10年度) 54,410
2.	名簿発行費(43,44期生) 267,330
3.	会報発行費 819,735
4.	発送委託費(同窓会負担分) 686,261
5.	会合費(同窓生の集い他) 208,270
6.	一般事業費(恒例事業等) 581,336
7.	特別事業費(75周年他) 637,014
8.	会議費(執行役員会・理事会) 15,164
9.	事務用品費(封筒、用紙等) 89,177
10.	通信送料費(切手等) 288,206
11.	交際費(祝儀等) 30,000
12.	慶弔費(祝電、弔電、花料) 87,419
13.	旅費交通費(世界同窓会派遣) 226,740

14.	支払(払出)手数料 43,590
15.	預かり金支出計 3,105,480
支出小計	
1.	当期支出計 4,034,652
2.	預かり金支出 3,105,480
3.	次期繰越金 6,387,284
支出総計 13,527,416	
現預金残高証明	
1.	定期預金残高(23.8.31) 5,914,057
2.	普通預金残高(23.8.31) 300,052
3.	郵便振替口座(23.8.31) 2,880
4.	現金 170,295

監査報告(平成23(2011)年9月1日)

当監事兩名は、平成21(2009)年9月1日から平成23(2011)年8月31日までの「育英学院同窓会会計報告」について、同会より提出された同期の活動報告に基づき、予算の執行状況と入出金台帳の記載内容および、伝票、領収書について照査を行った結果、今期の会計報告書は記載すべき事項を正しく示していることを監査の上、報告いたします。

育英学院同窓会監事 生田目 彰久
同 西村 春夫

第3号議案 11-12年度事業と予算

11-12年度の事業については基本的に前09-10年度と同様であるが、以下のいくつかの特別事業を計画している。

- (1) 「育英ファミリー会さくらの会」継続支援
 - (2) 44期生 CHD(謝恩会代替)企画の推進支援、これについては44期以降についても毎年の学園祭における「卒業生の集い」に招待する形で継続したい。
 - (3) デザイナーズフォーラム(TOP10)企画推進、デザイン系学科の1期生から10期生を対象に杉並でフォーラムを開催し、学科と人的交流を図る。
 - (4) グラフィックの会支援
 - (5) 在籍生活動(クラブ等)支援
 - (6) 奨学生支援の可能性検討
 - (7) 学校法人(高専)による寄付金募金への協力
- 以上の事業と以下の予算案が報告され拍手承認された。

予算案(2011.9~2013.8)

収入の部	
1.	前期繰越金 6,387,284

2. 入会金収入(45-46期)	3,564,000
3. 会員年会費収入	600,000
4. 雑収入(利息)	3,000
収入合計	10,554,284
支出の部	
1. 活動支出小計	
年報、会報発行費	1,600,000
一般事業(総会、育英ファミリー会等)	700,000
特別事業(CHD44etc)	700,000
2. 事務局経費	700,000
3. 予備費	300,000
当期支出小計	4,000,000
次期繰越金(予定額)	6,554,284
支出合計	10,554,284

第4号議案 執行役員改選(再選を含む)

今回の評議員会・定期総会では一部執行役員改選の時期にあたり、会長1名、副会長6名、理事35名、監事2名の構成から執行役員(候補)については以下の通り、評議員会、総会で就任、新任、再任、退任がそれぞれ拍手承認され、新任者が紹介された。

新顧問 藤谷宏(高専7期) 就任

新会長 林紹溢(高専6期) 新任

副会長 奥山勇人(高専9期) 再任

近松秀明(高専7期) 再任

川島幸子(高専31期) 再任

副会長 河村英和(高専1期) 新任

由良公一(高専22期) 新任

廣野あや(高専31期) 新任

副会長 東学(高専25期) 退任

戸田秀一(高専10期) 退任

監事 生田目彰久(工高11期) 再任

西村春夫(高専2期) 再任

このほか執行役員会には必要に応じて理事の一部を招集することがあるとされた。

第5号議案 高専44期生のCHD44開催

校長から去る2011年3月に卒業した高専44期生について大震災の影響で謝恩会を予定していた会場(ホテル)から辞退があり、やむなく中止することになったので、これに代わって学園祭の時期に44期生のためにCHD(Coming Home Day)を開催してほしいという申し出が校長からあったので以下のように企画、昨日10月29日開催、新社会人となっている44期生は138名中108名が出席、校長、前現副校長、事務長、4学科長、4担任が出席して再会を祝った。山川氏の映像など大いに盛り上

がって中締めとなり散会したが、その後クラス毎に八王子の夜の間に消えていった。翌日学園祭で学校に来たものも多数あった。

開催日 2011年10月29日(土)
 イベント Coming Home Day 44 (CHD44)
 時間 午後6時～
 会場 八王子プラザホテル
 招待 サレジオ高専44期卒業生
 卒業時学科長・5年担任
 44期生評議員+CHD幹事
 幹事団 育英学院同窓会
 主催

今後、学園祭時の「卒業生の集い」にその年の卒業生を招待することを決めた。この議案も拍手承認された。

第6号議案 ドンボスコ生誕200年・高専昇格50周年記念募金(仮称・寄付金募集)協力

学校法人育英学院を母体として標題の寄付金募金について協力要請があり、これについて審議した。

2013年には高専昇格50周年、2015年にはドン・ボスコ生誕200周年を迎えるに当たって、高専の設備更新、教育研究充実のためのご芳志を賜りたいとの学校法人ならびにサレジオ高専校長から要請があり、これに同窓会として協力することとした。具体化は年明けになる模様で以下は今後検討される事例案である。事業が決定されると別便で協力をお願いを学校法人から発送する予定である

設備更新事例

1. 電気工学科マシニングセンター
2. 応用技術センター工作機械設備群
3. 野尻湖施設の更新
4. 3D-CADCAMシステムの導入
5. その他

教育研究事例

1. 教員研究活動支援
2. 奨学制度支援
3. プロジェクト活動支援
4. その他継続支援(教育研究後援会制度設立等)

これらについても協力の方向で拍手承認された。

第7号議案 その他の議案

上記以外の提案について審議し、取り扱いを執行役員に一任した。藤谷前会長(現ワングルOB会幹事)には当日出席された野沢先生(元ワングル部顧問)から会長就任についてご苦労をかけたという趣旨で花束が贈呈された。ちなみに新任の河村、由良両副会長もワングルOBである。

その後懇親会にうつり、在校生も交えて、会食、BINGOに興じ、32GBから2GBまでUSBスティック合計31本の賞品が多くの会員に当たった。付録に75周年CDもつけられた。写真スナップは同窓会のページのフォトアルバムに掲載されている。